



おおひらやま 学校・園 たより 大平山つ子



別府市立大平山小学校・幼稚園
児童数 270名・園児数 16名
令和8年1月19日発行
文責:
校長・園長
安部 恵



目標に向かって前進する年に

明けましておめでとうございます。

今年は、「午年」。馬は古くから、人とともに歩み、力を合わせて前へ進んできた存在です。速く走るだけでなく、状況を見極めながら、着実に歩みを進める姿は、子どもたちの成長の在り方とも重なります。学校生活の中で、子どもたちは、うまくいくこともあります、思うようにいかず立ち止まることもあります。その一つ一つの経験が、次の一步の大切な学びです。子どもたちが、自分の目標に向かって粘り強く取り組み、仲間とともに成長していくように指導支援を重ねていきます。ご家庭と学校が手を取り合い、同じ方向を向いて子どもたちを支えていければと考えております。本年も、保護者の皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1月8日(木)には全校児童園児が集まって3学期の始業式が行われました。児童代表の話では、4年生の高橋幸芽



さんが、冬休みに家族で買い物に行ったりや 3 学期は学力テストに頑張ることを 6 年生の渡邊結唄さんが、3 学期は、勉強・卒業式・友達との思い出づくりに頑張ることを発表しました。ほかの子どもたちも新年の決意を各学級で確認したことと思います。

休み時間の避難訓練

700名以上の犠牲者を出した能登半島地震から 2 年が経ちました。お正月の団らんの時間を家族や親せきとともに過ごしている時に起きた災害でした。「災害は忘れたころにやってくる」と言われますが、いつ、どこで起きるかわかりません。そのための心や行動、物質等の準備をしておきたいものです。

今年は、地震による避難訓練を中休みに行いました。子どもたちは、事前に地震が起きたらどのような行動をするべきか指導しておき、抜き打ちの訓練となりました。運動場で遊んでいる子、教室で友達とおしゃべりしている子、図書室で本を読んでいる子など思い思いの過ごし方をしている子どもたちが、放送を聞いて自分で判断して避難をしました。ご家庭でも、災害時の避難場所の確認や備蓄、非常用持出バック、家具の置き方などをお子さんと振り返ってみてください。



学年でのなわとび大会

寒さで室 内にこもりが ちになる冬の 体力アップの ひとつとして、 今年も全校で 体育の時間の	1年	2/13 (金) ② 9:20~
	2年	2/10 (火) ④ 11:15~
	3年	2/6 (金) ③ 10:25~
	4年	2/12 (木) ⑥ 14:20~
	5年	2/3 (火) ① 8:30~
	6年	2/12 (木) ② 9:20~

準備運動として、なわとびに取り組んでいます。各学年でなわとび大会を行います。詳しい内容は学年通信でお知らせしますので、是非、おうちの方の温かい応援をよろしくお願ひします。

大平山幼稚園 閉園 (令和8年3月)

令和5年11月に出された「就学前教育・保育ビジョン」により、大平山幼稚園が令和8年3月をもちまして閉園することとなりました。これまで地域の皆様に温かく見守っていただき、多くの子どもたちが元気に巣立っていました。長年にわたるご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

尚、閉園式は3月14日(土)に行いますが、会場の都合等で在園児・保護者・来賓のみで執り行いますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

少年は 手を離せ目を離すな

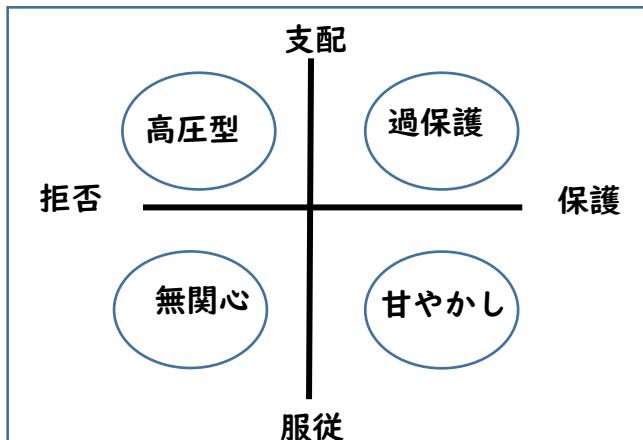
「子育て四訓」として、古くから伝わるアメリカインディアンの名言です。子どもの自立に向けて子育てを行いますが、成長の過程で重点を置くことが少しずつ変わっていかなければならぬことを伝えています。

- 一、乳児は しっかり肌を離すな。
- 一、幼児は 肌を離せ 手を離すな。
- 一、少年は 手を離せ 目を離すな。
- 一、青年は 目を離せ 心を離すな。

小学生なら「少年」に当たるでしょう。少しづつ手を離して独り立ちする準備をしていかなければならぬ時期です。しかし、目を離さずに子どもの様子をしっかり見守る必要があります。そして、中学生になるにしたがって、子どもも親に秘密を持つようになります。その秘密を大切にしながら、子どもを思う心はいつまでも持ち続けなければならぬということを伝えているのでしょうか。

さて、子どもの性格に関する心理学として、有名なものにサイモンズ式分類があります。これは子どもの性格には親の育児態度が大きく影響するというものです。もちろん、育児態度以外にも周囲の環境や遺伝、子ども自身の持つて生まれたもの等も、子どもの性格を形成する要因となります。しかし、親の育児態度が子どもの性格に深く関与することは、間違いない事実です。

親の態度を「支配」(命令、強制する)「服従」(言いなりになる)「保護」(必要以上に保護する)「拒否」(無視、拒否する)の4つに分け、さらにそれらが組み合わされたものとして、「支配と保護の過保護型」「保護と服従の甘やかし型」「拒否と服従の無関心型」「支配と拒否の高圧型」と分類されます。



過保護型(支配・保護):子どもの苦労を先回りして解決し、成長の機会を奪う。親の境界線が不明確。
影響:依存的で打たれ弱く、自主性が育たない。

甘やかし型(服従・保護):子どもの言いなりになり、欲求をすべて満たし、共依存になることもある。

影響:問題解決能力が育たず、共感性が乏しく自己中心的になる。

無関心型(服従・拒否):親自身の生活が中心で、子どもへの関心が薄く、主体的に関わらない。

影響:寂しさや自責感から被害者意識が育ち、自己肯定感が育たない。

高压型(支配・拒否):親の理想を子どもに押し付け、命令と罰でコントロールしようとする。

影響:子どもは指示待ちになり、自己肯定感が低くなる。

親が「良かれ」と思っていても、極端になると子どもに悪影響を与えることがあります。理想は「バランスの取れた子育て」であり、自分の子育てがどのタイプに偏りすぎているかを知り、意識的に修正することが重要です。「保護」の傾向が強くなり、「最近、子どものことに手を出し過ぎている」と感じたら、「子どもに任せることを増やしていく」。「服従」の傾向が強くなっていると感じたら、「親の考えをしっかりと伝えていく」と意識して、接し方を変えていくことでバランスが取れるのではないでしょうか。

子育てには、正解はありませんし、完璧な親などいません。だからこそ、悩むことが多いと思いますが、「育児は育自」です。子育てしながら親として自分を振り返る参考になれば幸いです。

今後の予定

1月	23日(金)	クラブ活動
	27日(火)	フッ化物洗口
	29日(木)	6年木工教室
	30日(金)	6年学年末参観
2月	3日(火)	フッ化物洗口
	4日(水)	おはなしの森(246年)
	5日(木)	新入学児童保護者説明会
	6日(金)	委員会活動(新旧交代)
	10日(火)	平和集会
	17日(火)	フッ化物洗口
	19日(木)	5年青森りんご授業
	20日(金)	1日一年生
	24日(火)	フッ化物洗口
	25日(水)	おはなしの森(135年)
	26日(木)	1~5年学年末参観
3月	3日(火)	フッ化物洗口
	6日(金)	委員会活動
	10日(火)	フッ化物洗口
	14日(土)	大平山幼稚園卒園式・閉園式
	17日(火)	卒業証書授与式
	19日(木)	令和7年度 修了式
	30日(月)	離任式
4月	8日(水)	令和8年度 始業式
	13日(月)	入学式